

議題（２）オレンジゆずるバスの旧車両の売却について

1. 経過

- ・オレンジゆずるバス車両については、国の地方創生臨時交付金を活用し、令和3年度に7台の車両更新を実施した。
- ・そのため、旧車両について売却等の対応を進める必要があった。
- ・従来、予備車については1台で運用を行っていたが、車両点検等の際に車両トラブルが発生した場合、予備車両1台では対応が出来ない状況が発生していたため、旧車両7台のうち1台については予備車扱いとして、残りの6台を売却することとした。

2. 車両売却額およびその取扱い

（１）売却額

10,324,524円

（２）売却額の取扱い

雑入として取扱い、予備費として留保し、協議会運営に必要な事業に充当する。

3. その他

予備車扱いとする1台を除いた残り6台の旧車両については、継続して保有する場合、維持・管理等の費用として1台当たり約80万円/年及び駐車スペースの確保が必要となることから、その取扱いについて対応が必要であった。

その対応にあたっては、協議会から箕面市に対して、旧車両の他事業での活用等について確認を行ったところ、観光事業等の他事業での活用は座席数が少ないことから、車両改修などの対応が必要となり、採算性が見込めないなど他事業での活用は困難との回答があった。

また、現在、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、半導体不足などにより新車の納車時期が遅れるなど中古車両の需要が高まっており、従来より売却額が高額となることから、車両売却を行った。